

株式会社 N・フィールド

第17期 定時株主総会



式次第

1. 議決権数のご報告

2. 監査報告

3. 事業活動のご報告

4. 業績結果のご報告

5. 貸借対照表、損益計算書、
株主資本等変動計算書について

6. 対処すべき課題

7. 議案のご説明

8. 質疑応答

9. 議案の採決

10. 経営陣紹介

株主各位

証券コード6077
2020年3月2日
大阪府大阪市北区堂島浜一丁目4番4号
アーク堂島東館
株式会社N・フィールド
代表取締役社長 又吉 弘章

第17期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社第17期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。
なお、当日ご出席できない場合は、書面又は電磁的方法（インターネット等）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、次ページの案内に従って、2020年3月23日（月）午後6時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

- 記
1. 日 時 2020年3月24日（火曜日）午前10時（受付午前9時～）
 2. 場 所 大阪市北区堂島浜1-3-1
ANAクラウンプラザホテル大阪3階万葉の間
 3. 目的事項
報告事項 第17期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）
事業報告及び計算書類の内容報告の件
- 決 議 事 項
第1号議案 剰余金配分の件
第2号議案 監査等委員以外の取締役3名選任の件
第3号議案 監査等委員である取締役5名選任の件

以上

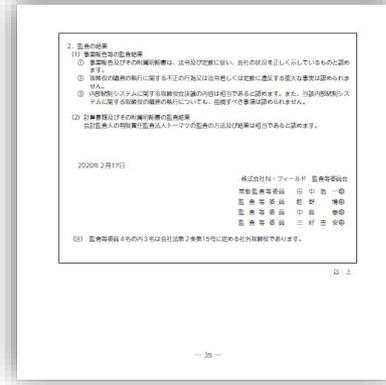
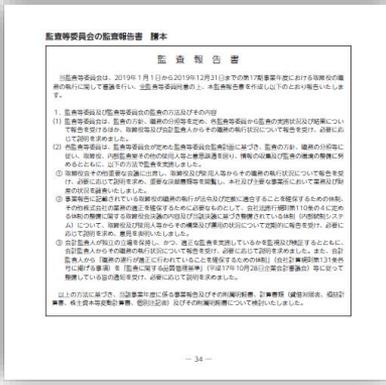
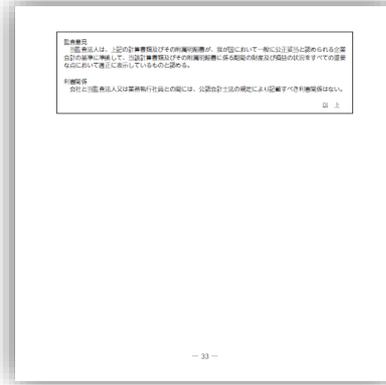
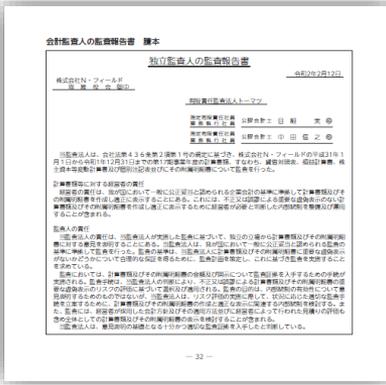
本株主総会よりご出席の株主さまへのお土産は取り止めとさせていただきます。

○当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

○計算書類の個別注記表につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.nfield.co.jp/>）に掲載いたしますので、本招集ご通知及び添付書類には、記載していません。会計監事、監査等委員会が監査した計算書類は、本招集ご通知の添付書類に記載の各書類のほか、上記ウェブサイトに掲載している個別注記表となります。

○紙質節約のための、本招集通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

○株主総会参考書類、事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.nfield.co.jp/>）に掲載させていただきます。



招集ご通知 32～35ページをご参照下さい。

事業活動におけるポイント

1. 採用コストの削減

2. 人材定着

3. 新たな取り組み

3. 事業活動のご報告

採用コストの削減

人材定着

新たな取り組み

前年度①

看護師充足を急ぐ拠点
割増手数料の支払い

前年度②

人材紹介会社経由の割合が高い
採用コストの増加

単価の適正化

今年度①

看護師の充足により、割増手数料を廃止

今年度②

従業員紹介や直接応募の増加への取組み
⇒ 人材紹介会社経由の割合が低下

結果

採用コストの削減

3. 事業活動のご報告

採用コストの削減

人材定着

新たな取り組み

福利厚生・教育の充実

今期

在籍年数の向上
看護の質レベルアップ

多くの知識を吸収し
現場経験を積める

来期以降の目標

稼働の向上

引き続き教育に注力

営業利益率の上昇

3. 事業活動のご報告

採用コストの削減

人材定着

新たな取り組み

新規事業

相談支援
事業

福岡と岡山
で指定

居住支援
法人

大学機関

研究協力

D&Life

地域の新たな窓口
社内PSWの新たな活躍の場

住宅確保要配慮者への
居住支援者として指定

精神科訪問看護による
家族心理教育の研究

新たな関係先との繋がり
訪問看護事業にプラス効果

住宅支援の認知度向上
国土交通省や
都道府県のHPに社名が掲載

次世代の
在宅医療サービスへ

4. 業績結果のご報告

	2019年度	前事業年度比
売上高	10,482,261	↑ 1,089,785
営業利益	478,095	↓ 45,455
経常利益	481,391	↓ 32,248
当期純利益	200,010	↓ 38,233

5. 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書について

貸借対照表

(2019年12月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(貸) 流動資産	2,976,350	(借) 流動負債	1,235,398
現金及び預金	977,964		
売掛金	1,861,001		
有価証券	2,773		
前払費用	2,945		
前払金	118,348		
その他貸倒引当金	16,271		
	△2,955		
固定資産	618,087		
有形固定資産	110,946		
建物	81,139		
構築物	2,043		
工具、器具及び備品	11,674		
リース資産	11,352		
土地	4,735		
無形固定資産	145,701		
商標	1,024		
ソフトウェア	114,344		
ソフトウェア仮固定	30,332		
投資その他の資産	361,439		
従業員に対する長期貸付金	13,199		
長期前払費用	2,343		
差入保証金	216,673		
差入税金	114,836		
その他	14,386		
資産合計	3,594,437		

- 29 -

損益計算書

(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

科目	金額
売上高	10,482,261
売上原価	8,727,809
売上総利益	1,754,451
販売費及び一般管理費	
営業利益	
営業外収益	
受取利息	
受取配当金	
その他	
営業外費用	
支払利息	
支払配当金	
その他	
経常利益	
特別利益	
固定資産売却益	
引当金繰入	
法人税、住民税及び事業税	
法人税、住民税及び事業税	
当期純利益	

- 30 -

株主資本等変動計算書

(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				利益剰余金
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他資本剰余金	資本剰余金合計	
2019年1月1日繰越	731,950	701,950	23,749	725,699	200
事業年度中の変動額					
剰余金の配当					
当期純利益					
自己株式の取得					
(株主との間の譲渡額)					
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-
2019年12月31日繰越	731,950	701,950	23,749	725,699	200

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計	自己株式		
2019年1月1日繰越	887,351	887,551	△208,553	2,136,648	264
2019年12月31日繰越	887,351	887,551	△208,553	2,136,648	264
事業年度中の変動額					
剰余金の配当	△64,960	△64,960		△64,960	
当期純利益	200,010	200,010		200,010	
自己株式の取得			△99,944	△99,944	
(株主との間の譲渡額)					
事業年度中の変動額合計	135,050	135,050	△99,944	35,106	
2019年12月31日繰越	1,022,402	1,022,602	△308,497	2,171,754	264

- 31 -

招集ご通知 29～31ページをご参照下さい。

5. 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書について

N.FIELD 

N・フィールドについて

安心のサービス

拠点一覧

お知らせ

IR情報

採用情報 

お問い合わせ 

N.FIELD MIND

こころをこめて
こころの繋がりを



一般の方へ



医療関係者の方へ

個別注記表はWEB開示

<https://www.nfield.co.jp/>

6. 対処すべき課題

(5) 対処すべき課題

当社は、日本国内における団塊の世代が75歳を超え、後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となるいわゆる「2025年問題」を迎えるにあたり、精神科訪問看護サービスにおけるこれまでの企業運営方法や職場環境を再見し、社会的課題の解決に向けた次世代の医療サービス提供を可能とする企業を目指し、中期経営計画「NEXT FIELD 2025」を策定し当事業年度より取り組みを行っております。

中期経営計画において、2020年12月期から2022年12月期まではPHASE2として「医療サービス拡充とアライアンス強化による次世代成長エンジンの構築」を図ってまいりますが、当社は、以下の項目を重要課題として認識し、取り組んで参ります。

①収益性の向上

当社は、利用者の継続的な増加により増収を続けてきましたが、一方で営業利益は直近2事業年度連続で減益、営業利益率は東京証券取引所第一部に上場して以降、低下し続けており、収益性の改善が最重要課題であると認識しております。

当社は、訪問を行う看護師等の定着率の向上が、経験や技能の向上による訪問件数増加及び採用費用の抑制を通じて収益性の向上に繋がると考えております。この考えに基づき当事業年度は看護師等の定着を優先して取り組み、その結果、課題であった一般看護師の在籍年数は、社内教育や福利厚生等の充実により確実な伸長を見せております。一方で当社の主要業績指標である看護師一人当たりの月間訪問件数（以下、稼働と表記）は前年対比で悪化いたしました。今後は看護師等の負荷に配慮しつつ稼働の改善を図り、収益性の向上に取り組んで参ります。

また、採用費用につきましても、紹介エージェント企業に対する人材紹介手数料は価格の適正化により当事業年度において大幅な削減を達成いたしました。今後も、紹介エージェント企業との関係を強化し、適正な価格での支払いを継続するとともに、従業員紹介や直接採用の比率の増加にも努め、採用費用の抑制を図って参ります。

②医療サービスの拡充

当社では精神科に特化した訪問看護を主たる事業として運営しておりますが、サービスを提供する対象である利用者の数には地域差があります。全体的な更なる利用者数の拡大のためには、精神科在宅医療に係る周辺領域の事業を取り込むことも課題と認識しております。

- 14 -

当事業年度において岡山県と福岡県より居住支援法人の指定を受けたことで、当社の住宅支援サービスに対する認知度及び信頼感の向上が見込めるため、居住確保要配慮者を対象とした住宅支援の更なる向上を図って参ります。また当事業年度には相談支援事業を立ち上げており、相談支援事業を利用者・医療機関・行政機関・福祉サービス提供機関の新たな窓口として、地域でのネットワークを強化し、利用者の利便性の向上を図るとともに、新たな利用者の取り込みも強化いたします。さらに、精神療法に作業療法を加えることで、ご利用者の状態の安定化と治療の継続に一定の効果が期待できることを踏まえ、今後は看護師と同様に単独での診療報酬が得られる作業療法士を増員し、訪問件数の増分を図るとともに、更なるサービスの拡充に取り組んで参ります。

③アライアンスの強化

2019年6月にTMS（経頭蓋磁気刺激）治療が保険診療化されるなど精神医療を取り巻く環境は変化し続けております。当社では、環境の変化に対応すべく、外部の関係機関とのアライアンスを強化し、次世代の在宅医療サービスを構築することが課題だと認識しております。

当事業年度においては本課題への対応の一環として、東京大学との研究協力を開始いたしました。この取り組みを継続していくとともに、これまでに築いたネットワークを活用することで、さらなる機会を模索し、今後も外部関係機関とのアライアンスを強化して参ります。

また、引き続き内部統制システムの構築を推し進め、ガバナンスを強化するとともに情報セキュリティ、労務管理を始めとしたコンプライアンス体制の構築に取り組んで参ります。

(6) 主要な事業内容

事業	主要な内容
住宅事業部門	(訪問看護) 訪問看護ステーションの運営
	(相談支援) 相談支援事業所の運営
	(住宅支援) 不動産賃貸物件紹介 転賃指（サブリース）物件管理

- 15 -

招集ご通知 14～15ページをご参照下さい。

課題

〔1〕 収益性の向上

〔2〕 医療サービスの拡充

〔3〕 アライアンスの強化

2025年に向けて

次世代成長エンジンの構築

地域社会においてなくてはならない存在へ

第1号 議案

剰余金処分の件

招集ご通知 3ページをご参照下さい

- * 企業体質の強化に必要な内部留保の確保
- * 安定的な配当の継続を重視
- * 今後の事業環境を勘案

1株につき5円

総額 6,443万円

剰余金の配当が効力を生じる日：令和2年3月25日

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 剰余金処分の件
剰余金の配当につきましては、企業体質の強化に必要な内部留保の確保に努め、安定的な配当の継続を重視するとともに、今後の事業環境を勘案いたしまして、以下のとおりとさせていただきます。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその額
当社普通株式1株につき 5円 総額 64,430,860円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2020年3月25日

第3号 監査等委員である取締役5名選任の件

議案 取締役5名選任の件

招集ご通知 7～9ページをご参照下さい

* 現任の監査等委員の取締役全員4名が

本定時株主総会終結の時をもって任期満了となるため（新任候補1名）

第3号議案 監査等委員である取締役5名選任の件

監査等委員である取締役全員（4名）は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査等委員である取締役5名の選任をお願いいたします。
 監査等委員である取締役については、当社の健全な経営と社会的信用の維持向上に資する人物で、中立的かつ客観的な立場にあることを前提に選定し、取締役会にて決定しています。
 なお、本議案につきましては、監査等委員会の同意を得ております。
 監査等委員である取締役の候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	職歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社株式の数
1	〔再任〕 田中 達二 (1954年12月22日生)	1979年4月 一宮証券株式会社入社 2011年4月 同社執行役員 取締役アドバイザー本部長 2013年12月 同社入社 監査等委員 2015年1月 同社執行役員 兼山形県センター入社 監理部長 2018年3月 取締役（監査等委員）兼任 2019年3月 取締役（監査等委員）兼任 【監査等委員である取締役候補者とした理由】 田中君は、長年にわたり金融機関に在籍し、財務及び会計に関する相当程度の知見を有し、また過去に当社の監理本部副部長、及び監理本部部長を務め、当社の事業内容に精通していることから、当社の監査においてその職務を適切に履行していただけるものと判断したためです。 【出席回数/取締役会】 19回/19回 100% 【取締役就任年数】 2年	0株

候補者番号	氏名 (生年月日)	職歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社株式の数
2	〔再任〕 松野 博 (1952年6月25日生)	1978年4月 大塚田楽入行 1999年7月 新野建設工業株式会社取締役 兼任 2010年9月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 2016年3月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 【監査等委員である取締役候補者とした理由】 野澤氏は、税理士として優れた財務及び会計に関する専門知識や豊富な経験、実績を有しておられることから、社外取締役としての職務を適切に履行していただけるものと判断し、選任をお願いするものであります。 【出席回数/取締役会】 19回/19回 100% 【当社社外取締役就任年数】 4年	0株
3	〔再任〕 中島 孝 (1946年11月14日生)	1979年4月 大塚田楽入行 2003年4月 森田地方方法部長 2009年4月 大塚建設印刷製版事業部長 2018年3月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 2019年3月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 【監査等委員である取締役候補者とした理由】 中島氏は、法務行政に長きにわたり携わり、法務に関する豊富な知識・経験を、当社の関係会社においても発揮したため、社外取締役として選任をお願いするものであります。 【出席回数/取締役会】 19回/19回 100% 【当社社外取締役就任年数】 2年	0株

候補者番号	氏名 (生年月日)	職歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社株式の数
4	〔再任〕 三好 吉成 (1971年11月5日生)	1996年3月 森田地方裁判所書記官 1998年4月 森田地方裁判所書記官 2002年10月 弁護士登録 2018年3月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 2019年3月 当社社外取締役（監査等委員）兼任 【監査等委員である取締役候補者とした理由】 三好吉成氏は、弁護士として扱われた専門的な知識・経験者で、当社の監査にしっかりと向きあうため、社外取締役として選任をお願いするものであります。 【出席回数/取締役会】 19回/19回 100% 【当社社外取締役就任年数】 2年	0株
5	〔新任候補〕 後藤 啓子 (1946年7月26日生)	1993年4月 群馬県立高崎大学 助教授 1996年4月 群馬県立高崎大学 専攻科地域看護学専攻 教授 2002年4月 群馬大学医学部看護学科 教授 2005年4月 群馬大学大学院看護学研究科 看護学専攻 教授 2005年4月 群馬大学医学部看護学専攻 看護学専攻 専攻長 2012年4月 群馬大学医学部看護学専攻 専攻長 2016年4月 群馬大学医学部看護学専攻 専攻長 【監査等委員である取締役候補者とした理由】 後藤啓子氏は、長年にわたり看護学の研究・教育に専事され、監査に係る分野についても高い見識をお持ちです。この豊富な知識・経験を、当社の監査にしっかりと向きあうため、社外取締役として選任をお願いするものであります。	0株

株式会社 N・フィールド

第17期 定時株主総会

